

先進スーパーコンピューティング環境研究会（ASE 研究会）開催報告

東京大学 情報基盤センター

特任准教授 片桐孝洋

2008年3月3日（月）13時から14時30分まで、東京大学情報基盤センター大会議室にて、第1回先進スーパーコンピューティング環境研究会（ASE 研究会）が開催されました。

記念すべき第1回ASE研究会の基調講演として、米国ローレンスバークレー国立研究所のOsni Marques博士をお呼びしました。Marques博士は、米国のエネルギー省（DOE）の支援のもと、米国のスーパーコンピュータ上の数値計算ソフトウェアを利用しやすくするためのツールキット ACTS Collection の開発責任者をされております。

本センターにおきましても、スーパーコンピュータを利用しやすくするソフトウェアの研究開発と普及はユーザの研究を支援するための重要事項と考えます。米国の先行事例として、Marques博士の講演は大変興味深い内容で、活発な質疑応答がなされました。なお、講演内容の詳細につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

第2回の研究会につきましては、7月下旬ごろ、高性能計算分野の気鋭の若手研究者を中心とした招待講演の企画を考えています。ASE研究会の開催情報は、メーリングリストで発信をしております。研究会メーリングリストに参加ご希望の方は、ASE研究会幹事の片桐（katagiri@cc.u-tokyo.ac.jp）までお知らせください。



会場の様子

第1回 ASE 研究会 Osni Marques 博士 基調講演 配布資料

講演者：

Osni Marques 博士

(米国ローレンス・バークレー国立研究所、東京大学情報基盤センターJSPS 招聘研究員)

講演題目：

「An Overview of the ACTS Collection」

概要：

Tools to reduce the effort required for the development and testing of scientific and engineering applications can greatly improve productivity. Similarly, mature applications that require large-scale computer simulations can greatly benefit from robust and efficient tools to achieve an optimal use of computing resources, and to simplify porting to new computer architectures.

The US DOE Advanced Computational Software (ACTS) Collection comprises a set of DOE-developed software tools, sometimes in collaboration with other funding agencies, and that facilitate the development and deployment of high performance codes for engineering and computational science applications.

In this presentation we will describe the functionalities currently available in the collection, applications that have benefited from the tools, and a set of services that aim at enabling the long-term availability, performance and readiness of the tools.